

「スヌーズレン教育・福祉研究 第2号」論文募集

◆**応募資格** どなたでも投稿することができます。

◆**論文内容** スヌーズレンのレジャー・教育・セラピーなどに関する内容
実践報告、実践研究、理論研究、調査報告、ルームや器材の紹介など、スヌーズレンに関する内外の動向の最新情報等を掲載します。

◆**投稿の方法**

- ・B5版縦置き、横書き。Microsoft Wordを使用し、1ページの上下左右とも各2cmの余白をとり、40字×38行の設定で、明朝体フォントサイズ10ポイント、図表を含め、刷り上がり10ページ以内を原則とします。各ページの下にページ数を入れます（所定の書式を使用）。
- ・論文の最初の1ページ目には、論文の種別、表題と副題（日本語）、著者氏名と所属（氏名は日本語と英語）、論文の日本語要約（400字以内）、キーワード（3～5語まで）。
- ・図表・写真図版等は本文中の該当箇所に刷り上がりをイメージした位置に、鮮明なものを挿入してください。また、図や表に表題をつけてください。
- ・投稿原稿には表紙をつけ、表紙には次のことを明記してください（書式は自由）。
論文の種別、投稿原稿の表題（副題を含む）、執筆者名（ふりがな）、専門分野、所属名、職名、連絡先（住所、日中に連絡可能な電話番号、ファックス番号、E-Mailアドレス）。
- ・投稿原稿は、印字した（紙媒体）原稿3部と電子媒体を提出してください。電子媒体の提出は特別な事情のない限りE-Mail添付とします。

◆**編集及び研究倫理**

- ・投稿論文は未発表でオリジナルな論文に限り、他誌に掲載予定またはすでに掲載された論文は投稿できません。
- ・投稿された論文は編集委員が査読を行い、採否の決定を行うと共に、論文の修正をお願いする場合があります。その場合には、期限まで再度修正した論文を再送付していただきます。
- ・事例を扱ったり、人物の写真を含む場合、本人または保護者の承諾を必ず得てください。
- ・人権侵害に該当する研究や表現は認められません。
- ・本誌に掲載する著作物の著作権並びに著作権は、「ISNA 日本スヌーズレン総合研究所」に帰属します。

◆**締め切り 2017年9月末 必着（2018年1月末発行予定）**

◆**投稿論文の送付先・問い合わせ先**

〒770-8514 徳島県徳島市山城町西浜傍示180

徳島文理大学保健福祉学部人間福祉学科 桃井 克将 宛

電話：088-602-8690 FAX：088-602-8783

ISNA 日本スヌーズレン総合研究所「スヌーズレン教育・福祉研究」編集委員会
事務局 桃井 克将 (momoi@tks.bunri-u.ac.jp)

「スヌーズレン教育・福祉研究」編集規程および投稿規程

◆編集規程

1. 本誌は I S N A 日本スヌーズレン総合研究所の機関誌であり、スヌーズレン関連領域の原著論文、資料論文、実践研究、実践報告、調査報告、学会報告、研修会報告、研究会報告などを掲載する。なお、原著論文とは理論、臨床、事例などに関するオリジナリティの高い研究論文をいう。
2. 本誌は、査読付きのスヌーズレンの教育や福祉等に関する研究誌として年 1 回、1 号発行する。
3. 投稿の資格はどなたでも投稿できる。
4. 投稿原稿は未公開のものに限る。
5. 投稿論文の掲載の採否および掲載順は編集委員会で決定する。編集にあたり、論文の種別の変更、および字句や図表などの修正を行うことがある。
6. 投稿規程に示した枚数を超過したもの、写真、色刷り図版など、印刷に特に費用を要するものは著者の負担とする。
 - ・投稿原稿の枚数が 10 ページ（表紙は省く）を超える場合、1 ページにつき 5,000 円の超過料を徴収いたします。
 - ・カラー写真は 1 ページまでは無料、2 ページ目からは 1 ページにつき 5,000 円を徴収いたします。なお、10 ページは英文抄録を含んだページ数のことです。
7. 投稿論文は返還しない。
8. 本誌に掲載された論文などの著作権は本研究所に帰属し無断で複製あるいは転載することを禁ずる。
9. 実践内容や事例の記述に際しては、匿名性に十分配慮すること。
10. 研究は倫理基準に則り、あらかじめ研究対象者にインフォームド・コンセントを必ず得る。

◆投稿規程

1. 原稿は原則としてワードプロセッサを用い、本研究所の定める**所定の書式 (Word 文書)** を用いて B 5 版横書きで作成する。本文の 1 ページ内の書式は 40 字×38 行×1 段（明朝体 10 ポイント、欧文綴りや数字は半角）とし、通しページを下部に記す。
2. 投稿の際には、原稿を保存した Word ファイルをメール添付で事務局に送付すると共に、元原稿とコピー 2 部の計 3 部を郵送すること。
3. 原稿の句読点は「。」、読点は「、」を用いる。
4. 表記は、新かなづかい、常用漢字、算用数字を用いること。
5. 論文の種別（原著・資料・実践研究など）を明記し、次に本文の冒頭に、和文要旨（400 字程度）とキーワード（3～5 語）を記載する。また、原著・資料・実践研究・調査報告は英文抄録（200 字程度）も最後の文献の後につけること、なお、実践報告等はつけなくてもよい。本文は、原則として、問題と目的、方法、結果、考察（結論）、文献、英文抄録の順に構成する。
6. 本文中に引用された全ての文献を、本文の最後に著者のアルファベット順、または引用順（どちらでも可）に並べ、本文中には、1) や 2) などの番号、著者名と年号によって引用を表示する。文献欄の表記の形式は、雑誌の場合は、「番号、著者名（発行年）題名、雑誌名、巻数、開始ページ-終了ページ。」とし、単行本等からの部分的な引用の場合は、「番号、引用部分の著者名（発行年）引用部分の題名、図書の著者名または編者名、書名、発行者名、最初のページ-最終ページ。」とする。本文中の引用では、筆者の性、出版年を明記し、その後ろ右上に番号を記す（フォントの中の「上つき」）。著者が 2 名の場合は、著者名の間に、和文では「・」を、欧文では「&」を入れる。3 名以上の場合、筆頭著者の性を書き、その他の著者名は「ら」または「他」、欧文の場合は、「et al.」と略す。カッコ中に引用を列挙する場合は、引用順を文献欄の順に準ずる。
7. 印刷の体裁は編集委員会に一任する。